

報告事例－2

森林環境教育（森林ESD）プログラム分析シート

プログラム名：		「山・里・湖、それぞれだけど、ひとつ。自然とともにある暮らしを感じ、つながってみよう！」	一般社団法人 比良里山クラブ 大津市立志賀中学校
(1) プログラムの目標		・地域の里地での自然体験を通して、人と自然の共生について考える。 ・豊かな自然と共に育まれてきた豊かな生活について学び、今後の暮らし方や生活エネルギーについて考え、環境保全を実践する態度を養う。 ・エネルギー教育モデル校の実践として、3年間のプログラムの一環として実施する。エネルギー教育、ESD教育の導入としての役割をもたせる。 ・総合的な学習の時間をつかった学習として、課題解決的な学習をさせる。 ・環境学習の中核となる学習として、関連する教科との事前・事後の連携を図る。	
(2) プログラムの概要		・事前学習（年度によって内容は変更あり） ・学校に集合した後、校区内の6か所に分かれて移動する。 学校より徒歩で移動 1グループ 電車で移動 5グループ 電車で移動するグループは活動場所の最寄り駅で比良里山クラブの皆さんと合流 ・それぞれのグループで学習 ・お互いのグループの学習内容を交流する。（年度によって方法に変更あり） ・学級の各活動班で活動した内容・学んだことを新聞にまとめる。教室前に掲示した後、地域の公民館などに掲示。 ・エネルギーについての学習で、エネルギーと社会・環境のかかわりについて考えるための題材とする。	
(3) プログラムの展開			
活動内容について、プログラムの流れで、記載する。 合わせて、段階的な学びとして、3つのタイプのアクティブ・ラーニング（in、about、for）の視点で活動内容を区分してみる。 ・in（～の中で）－ 体験、観察、製作など（関心・意欲、知識・技能） ・about（～について）－ 情報収集・分析、情報交換、討論など（知識・技能、思考・判断・表現） ・for（～のために）－ 提案、実践など（態度、参加・行動）			
時間数	プログラムタイトル		
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）	
in、about、for の視点で活動内容を区分			
3	事前学習		
	学習の目的・内容・計画の確認 事前学習 講演 活動の準備（グループ分け・役割分担） 事前指導	・学習のねらいを理解させる。 ・学習に興味を持たせ、地域を意識した活動であることを理解させる。 ・校外での学習に向けて、留意する点などを確認する。 ・各学級に全てのグループがあるようにする。	
	・about－情報収集		
6	環境学習当日		
	6グループに分かれて活動場所へ移動 体験学習 見学・観察・講話・実技 学校へ帰って、活動のまとめ	・グループごとに行動する。 ・学んだことや感じたことなどをしっかり記録させる。 ・グループごとに学んだことを確認し、これからの地域と環境のかかわりについての課題を整理する。	
	in－体験、観察		
4	学習の共有とまとめ・発表		
	グループごとの学習内容の交流 グループごとにまとめの新聞制作 学級での発表会	・学級で全てのグループの学習内容を共有する。 ・まとめの新聞などを制作する。	
	・about－情報交換 ・for－提案		
	エネルギー教育との連携		
	理科 技術・家庭科技術分野 総合的な学習の時間	・森林とエネルギー ・地域の暮らしとエネルギー ・暮らしの中で使われてきたテクノロジー	
	・in－観察、製作 ・about－情報収集・分析、情報交換、討論 ・for－提案、実践		

（４）プログラムでの連携内容 （教育機関、地域、団体等での、①連携・協働先、②役割分担、③具体的な連携・協働の内容）		
①比良里山クラブ ②当日、比良里山クラブの皆さんに講師として各活動場所での指導をいただき、学校教員は事前事後学習を指導するとともに当日の引率指導を行う。事前に担当者を中心に協議を行い、プログラムの詳細について打ち合わせを行う。 ③地域に関係の深い方からお話を伺うことで、地域の生活と環境のかかわりについて考えさせる。		
エネルギー教育モデル校の活動の一環として、資源エネルギー庁から活動に伴う援助をいただいている。		
学習指導要領との関連		
1年	技術：材料と加工に関する技術	
2年	技術：生物育成に関する技術，エネルギー変換に関する技術	
3年	理科：科学技術と人間	
4年		
5年		
6年		
総合的な学習		横断的・総合的な課題の学習、社会体験、討論・発表
特別活動		社会の一員としての自覚と責任　旅行・集団宿泊的行事
森林環境教育の視点		
1 感性的経験	感性的な内容　－　森林の感覚的把握や美的把握、畏敬の念など	
2 自然的特性	森林の自然的特性に関わる内容　－　植物や動物の生態など	
3 多面的機能	森林と人とのかかわりに関する内容　－　森林の働き、保安林など	
4 現状・課題	森林の現状に関する内容　－　森林の荒廃、人手不足など	
5 管理・維持	森林の管理・維持に関する内容　－　森林整備、育成、維持、管理など	
6 歴史・文化	森林とのかかわり方の歴史　－　その土地での歴史、薪炭林、炭焼き	
（５）活動の分析（学習指導要領との関連または森林環境教育の視点）　上位３項目		
教科・項目、視点		学習内容
多面的機能	エネルギーとしての森林 生物との共存の場 里山・湖と森林のかかわり	・蒔き割り体験などを通して、エネルギーと暮らしの変遷とエネルギー源としての森林について考える。 ・森の生物との共存について、シシ垣の補修などを通して考える。 ・湖、内湖、里山と森とのかかわりについて知る。
歴史・文化	暮らしの中での森の利用 古くからの暮らしの中でのかかわり	・森からの恵みを生かした生活について知る。 ・古くからの治水の知恵や、水と森とのかかわりを知る。
技術・家庭科技術分野	資源としての森林 木材・林業と生活のかかわり 世界の森林資源 再生可能エネルギー	・林業の現状を知り、木材資源の利用について考える。 ・木材と生活・文化とのかかわりを知る。 ・森林バイオマスや木材の有効利用技術について知り、今後の技術と社会・環境のかかわりについて考える。

(6) 活動の分析 (資質・能力の視点)				
E S Dの要素 (生きる力)	能力	1 批判的に考える力	態度	5 他者と協力する態度
		2 未来像を予測して計画をたてる力		6 つながり尊重する態度
		3 多面的、総合的に考える力		7 進んで参加する態度
		4 コミュニケーションを行う力		
資質・能力 三つの柱	①生きて働く「知識・技能」の習得			
	②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成			
	③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養			
次期学習指導要領では、持続可能な開発のための教育（E S D）等の考え方も踏まえつつ、「生きる力」とは何かを、「資質・能力」（三つの柱）に沿って具体化するとしています。 活動を、三つの柱の項目に再整理して記載をしてください。（該当がない項目は空欄）				
項目	E S Dの要素（7つの能力・態度）の視点で見つめ直して、 もっとも重視する視点の内容を記載してください。			
①生きて働く「知識・技能」の習得	・多面的、総合的に考える力 「山・里・湖、それぞれだけど、ひとつ。」のテーマに象徴されるように、環境・生活・社会のかかわりを総合的にとらえ、多面的な視点をもって分析する能力を育成する。 滋賀県では水環境にかかわる環境学習が多いが、湖にとらわれず、生活環境を広くとらえるとともに、歴史的な経緯を知ることによって時間軸についても総合的に考える機会としたい。			
②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	・状況を分析し、自分取るべき適切な言動について、自分で考え判断する態度と能力を育成する。特にエネルギー教育の観点からも、偏った報道や極端な意見を鵜呑みにして、思考を停止してしまいがちな社会のなかで、正しい知識をもとにした主体的な判断と、その表現・発信について学ばせていきたい。			
③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養	・環境にかかわる諸問題について、将来的に社会の意思決定にかかわるようになって時に、中学校で学んだ態度や考え方の礎は確実に役に立つ。また、環境や技術にかかわる問題が、時間とともに変わっていくことを予見し、学び続け、考え続けることの重要性についても理解させたい。			
(7) 実施後、参加者の変化				
・身近な地域での活動であるが、生徒にとって初めて行く場所も多く、自分たちが生活する地域を深く認識することができた。 ・自然環境や生活の変異を意識することができ、現在の環境が変化なくずっとあり続けるものではないという事を強く感じた生徒が多かった。 ・現代社会のエネルギーについて考える学習とリンクをさせることで、地域で学んだことが地球規模での大きな問題につながっていることを認識することができた。				
(8) プログラムの今後のめざす方向・展開				
・さらに地域との連携を深めるために、事前事後学習にも参加をいただく。 ・継続的な学習にするための、3年間を見通した学習計画を確立していく必要がある。				
(9) 現状での課題、質問事項など				
・今後も安定してプログラムを続けていくための、予算や時間の確保が重要である。エネルギー教育の指定が本年度で終了するため、次年度からの予算の確保ができていない。また、授業時数が慢性的に不足していることが多い中で、確実に効果をあげるための授業時数の確保することが難しい。 ・本年度、雨天のため充実した活動ができなかった。お世話になる方が大変多いため、予備日などをとることが難しく、悪天候時の活動を再考する必要がある。				